

# 東雲から世界へ

## －第5学年「ホームページをつくるゾ!!」の実践から－

西井章司

### 1 はじめに

本校の総合的な学習（コンピュータ活用）の目標は次の3つである。

- (1) コンピュータなどの機器に主体的にかかわり活用し、生活をより豊かにしていこうとする態度を養う。
- (2) コンピュータの基本操作技能を身につけることができる。
- (3) コンピュータの通信機能を生かした利用をし、情報収集や情報発信をすることができる。

これを受けて、高学年の目標を「コンピュータを使って、情報交換をすることができる」としている。しかし、これは単に情報交換をするだけではなく、伝えたい情報をコンピュータの向こうの人に発信するという活動を通して、人と人との交流を目指している。すなわち、子どもたちが主体的にコンピュータにかかわり、人と人との交流に生かし、そこに喜びを感じ、自分の生き方を向上していくようにすることを本当のねらいとしている。

### 2 本校のコンピュータ環境

本校のコンピュータルームには、教師用1台、児童用は一人1台の割合で40台のコンピュータが導入されている。それぞれのコンピュータは教室内LANでつながっており、また教師用のコンピュータと双方向の画像転送システムで結ばれている。また教室内LANは広島大学のサーバーと専用線でつながっている。さらにコンピュータルームだけではなく、各教室にも専用線とつながったコンピュータが1台ずつ設置してある。

### 3 単元について

家庭電化製品の中には、コンピュータがふんだんに使われている。また、過去12ヶ月の間に世界で販売されたパーソナルコンピュータは、今や自転車の販売台数を凌ぐようになってきた。こうした機器の普及と共に最近のテレビや新聞などでは、コンピュータに関連した情報が毎日のように流されている。今後は、ますます高度情報社会が進展していくであろう。この時代にあって子どもたちが情報を主体的に選択・活用できるようにしたり、情報の発信・受信のルールを身につけたりすることはとても重要なことであると考えられる。

そこで本単元では、情報を受容するだけでなく、自らインターネットを利用して情報を発信することができるようになること、交流を広げていけることをねらいとして設定した。

本学級の児童は、これまで自分の知りたい情報をインターネットを通じて収集したり、ワープロ機能やペイント機能を使って表現したりする活動を経験をしてきている。ほとんどの児童がコンピュータの活用に意欲的であり、関心も高い。またお互いにわからないところを教え合っていこうという姿勢が見られる。ホームページの作成に関してはほとんどの児童が初めての経験であり、楽しみにしているようである。

本単元では児童が7月に経験した「山の学習」を題材として取り上げる。「体験して得たもの」「協力の大切さの実感と成就感」「自然のすばらしさ」など児童が伝えたいと思っていることが豊富であることと、全員が共通の体験をしており、みんなで協力してホームページを作成しやすいと考えたからである。

### 4 単元の目標

- (1) インターネットを利用して生活経験に基づく情報を発信し、交流を広げようとするこ

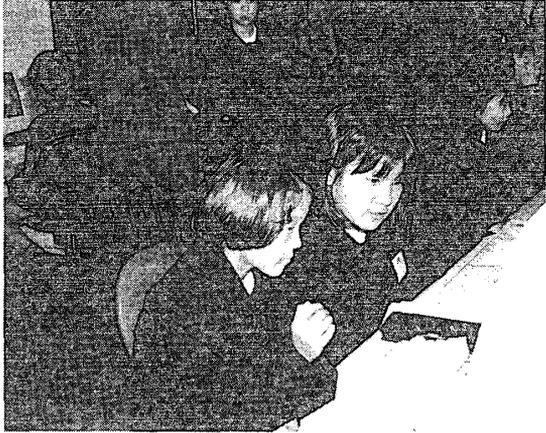
とができる。

- (2) ホームページの作成に、自ら進んで取り組む態度を養う。
- (3) ワードプロソフトを中心として、文章の作成や画像の取り込みなどの技能を身につけることができるようにする。
- (4) ホームページを作成することを通して、表現する能力をさらに高めることができるようにする。

## 5 単元の計画 (10時間)

- 第一次 ホームページのファイル形式 (HTML) を経験する。(1時間)
- 第二次 ホームページの意義を知り、載せる内容を考える。(2時間)
- 第三次 「山の学習」の中から題材を決めて個人で作成してみる(2時間)
- 第四次 個人で作成したものをもとに班でまとめる(3時間)
- 第五次 学級でまとめてアップロードする。(2時間)

## 6 学習の展開 (第四次第2時)

学 習 活 動	教 師 の 働 き かけ
<p>1 学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="352 936 783 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>「山の学習」での体験を世界に発信しよう</p></div> <p>2 班ごとにホームページの作成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 文書入力</li><li>・ 図や画像の挿入</li></ul>	<p>1 前時までの活動をふりかえり、今回の活動の課題を確認する場を設ける。 ◎見る相手のことを考えたページを作るよう促す。</p> <p>2 作業がスムーズに進むよう机間指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 操作方法など全体に知らせた方がよいことは作業を中断して全体に指示する。</li><li>・ 協力して作業を進めるよう促す。</li></ul>
 <p>3 各班の作成の途中経過を見て、工夫している点や良いところを発表する。</p>	 <p>3 ◎各班のページをみんなに紹介する。 ◎作成した班の「工夫した点」などを発表するよう促すとともに、他の班の良いところなどに対しても意見を求める。</p>

